



第21回「鉄道のある風景写真コンテスト」の開催のご案内

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。
- ・ご応募いただく作品は、概ね3年以内に撮影したものを対象としており、過去に撮影された作品でも応募できます。詳しくは募集要領をご参照ください。

日本の四季折々の鉄道のある風景を題材に、昨年は1,114点の応募をいただいた写真コンテストを今年も開催します。

グランプリ受賞作品は、例年、「鉄道の日」(10月14日)を中心に開催されるメインイベントの一つ「鉄道フェスティバル」のオープニングセレモニーで、審査委員長の猪井貴志氏(写真家)より作品の紹介と表彰をいただいています。

(※今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。)

記

「第21回鉄道のある風景写真コンテスト」

主催：「鉄道の日」実行委員会

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)

テーマ：日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

受付期間：令和2年7月1日(水)～8月31日(月)(必着)

受賞作品：グランプリ(国土交通大臣賞)

四季賞 春賞
夏賞
秋賞
冬賞

四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、
鉄道・運輸機構理事長賞1点、
国土交通省鉄道局長賞1点 を選出

1点
4点

シティ・トレイン・ビュー賞

1点

ジュニア賞(※18歳以下を対象)

1点

入選

数点

審査結果発表(予定)：10月上旬鉄道・運輸機構ウェブサイト

添付資料 第21回鉄道のある風景写真コンテスト募集要領

第20回鉄道のある風景写真コンテスト作品集

＜本件に関するお問い合わせ先＞

鉄道・運輸機構 鉄道助成部

特定財源管理課 栗原・増田

TEL 045-222-9133

第21回「鉄道のある風景写真コンテスト」募集要領

令和2年6月1日

主催者

「鉄道の日」実行委員会
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）

後援

国土交通省



テーマ

日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

応募受付期間

令和2年7月1日（水）～令和2年8月31日（月）必着

応募資格

・アマチュアの方で、撮影マナーをしっかりと守っていただける方ならどなたでも応募できます。

応募規格

※応募規格外の写真は、審査の対象外となります。

- ・応募作品は、未発表のものに限る。（詳細は注意事項①をお読み下さい。）
- ・カラー六切り（ワイド六切り可）、またはA4サイズでプリントアウトしたもの。
- ・額装、合成写真及び組み写真は不可。
- ・概ね3年以内に撮影をしたものに限る。
- ・応募点数は一人4点まで可能。
- ・無人航空機（ドローン等）により撮影した写真は不可。

応募方法

- ・応募作品には1点ごとに「作品情報票」を裏面にテープで貼付した上で、「応募票」（送付封筒1通毎に1枚作成）を同封して下記応募先まで送付して下さい。（直接の持ち込みは禁止します。）なお、「作品情報票」及び「応募票」は本要領の最終ページの利用、もしくは鉄道・運輸機構ウェブサイト（<https://www.jrtt.go.jp/>）よりダウンロードして作成してください。必要事項について記載があれば自作のものでも構いません。
- ・応募作品が、送付中に作品が折れたり、汚れないようビニール袋に入れる、厚紙に挟む等の包装を推奨します。

応募・問い合わせ先

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー20階
鉄道・運輸機構 鉄道助成部内 写真コンテスト係
電話 045-222-9122

表彰表

・グランプリ	国土交通大臣賞	1点
・四季賞		4点
春賞	四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、 鉄道・運輸機構理事長賞1点、 国土交通省鉄道局長賞1点 を選出	
夏賞		
秋賞		
冬賞		
・シティ・トレイン・ビュー賞		1点
・ジュニア賞 (18歳以下を対象)		1点
・入選		数点

グランプリ受賞者には、賞状、トロフィー、副賞及び記念品を贈呈いたします。
四季賞及びシティ・トレイン・ビュー賞受賞者には、賞状、副賞及び記念品を贈呈いたします。
ジュニア賞受賞者及び入選者には、賞状及び記念品を贈呈いたします。

審査委員

審査委員は、次の方々をお願いします。(敬称略)

審査委員長	猪井 貴志 (写真家)
審査委員	竹内 健蔵 (東京女子大学教授)
審査委員	中村 直美 (株式会社交通新聞社 常務取締役第2出版事業部長)
審査委員	国土交通省鉄道局長
審査委員	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長

審査結果の発表

入賞・入選者へは、鉄道・運輸機構から直接ご連絡するとともに、令和2年10月上旬に、鉄道・運輸機構ウェブサイト (<https://www.jrtt.go.jp/>) にて発表します。

なお、グランプリ受賞者は、例年、10月に東京で行われる「鉄道の日」関連行事(鉄道フェスティバル)の中で表彰式を行っています。今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。

また、一部の作品は、鉄道・運輸機構の広報印刷物などにも利用する予定です。

個人情報の取り扱いについて

作品をご応募の際には、別添の「応募票」「作品情報票」に正確な応募者の個人情報を記入し、主催者に提供いただく必要がありますので、応募者は、自らの意思に基づき個人情報の提供についてご判断ください。なお、必要な個人情報を提供していただけない場合、主催者は当該応募を受け付けません。

(利用目的)

- ◇ 提供していただく個人情報は、以下の目的で必要な範囲で利用されます。
 - ・ 入賞、入選者への通知
 - ・ 本コンテストの応募作品に関する応募者への問合せ
 - ・ その他、本コンテストの運営上必要な場合
- ◇ 入賞、入選者の氏名、住所(都道府県のみ)は、本コンテスト関係のウェブサイトや印刷物その他で、入賞、入選作品を紹介する際にも掲載されます。

(個人情報の管理)

個人情報の取り扱いについては、関係法令に従い適正に管理します。

注意事項

下記の注意事項のほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。

- ① 応募いただく作品は、未発表で応募者が一切の著作権を有しているものに限り、応募者による同一または類似作品は、規模の大小にかかわらず、他のコンテストなどに応募中または応募予定の場合は応募できません。但し、応募者本人の制作による市販目的のない写真集や本人のウェブサイトに掲載された作品、審査のない写真展に出品した作品は応募可能です。
- ② 応募作品で使用する被写体（人物等）及び著作物等については、被写体および著作権等の権利者から応募者が事前に使用許諾・承認を得た上で応募してください。応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情、異議申し立てがあった場合といえども、主催者は一切の責任を負わず、応募者が全て対処するものとします。
- ③ 応募作品に関する著作権は、応募者に帰属するものとします。
- ④ 入選者は主催者に対し、主催者が管理するウェブサイト、展示会、印刷物、宣伝広告物等において、入賞・入選作品を公表、表示、複製、展示、公衆送信（送信可能化を含む）、頒布等し、かつ、それらの全部または一部を第三者に再許諾できる無償の非独占的権利を許諾するものとします。
- ⑤ 主催者は、前項に関連して、入選作品の全部または一部を改変（色合いの変更を含む）できるものとします。
- ⑥ 入選者は、主催者および主催者から許諾を受けた第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ⑦ 応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑧ 入賞・入選内定者は、指定期限内に原版（ネガ・ポジ等）またはデジタルデータを提出していただきます。期限内に提出いただけない場合、入賞・入選の内定を取り消します。なお、原版（ネガ・ポジ等）で提出いただいた場合は、使用後に当該原版を返却いたします。
- ⑨ 応募作品の受領通知は行いませんので、ご了承下さい。
- ⑩ 応募作品（入賞・入選作品に関しては提出いただいた原版及びデジタルデータも含む）の取扱いには十分注意しますが、万一応募作品に関する損失、紛失等の事故（送付中の事故も含む。）が生じた場合であっても責任は負いかねます。
- ⑪ 審査選考に関するお問合せ及びご要望には応じかねます。
- ⑫ 撮影にあたっては、列車往来などに十分注意してください。鉄道用地・私有地への無断の立ち入りや違法駐車、ゴミの投棄などの近隣住民への迷惑行為及び危険行為は絶対に行わないで下さい。これらの行為のうえ撮影されたと思われる作品は審査対象外とします。また、撮影に起因する事故やトラブル等については、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ⑬ 主催者は、応募者が応募した時点で本募集要領に記載されている諸条件に同意したものとみなします。本募集要領に明記されていない事項については、主催者が最終的な決定権をもつものとします。また、主催者の決定に同意できない場合、応募者は応募を撤回することができますが、応募の撤回にともなう費用は、全て応募者の負担となります。
- ⑭ ご応募が本募集要領に違反すると主催者が判断した場合は失格となります。また、入賞・入選決定後に違反が判明した場合も同様となり、入賞・入選の取消しや副賞等を返還していただく場合があります。この場合の費用は、全て応募者の負担となります。

応 募 票

(ふりがな) 氏名	(歳) ※1 男 ・ 女
住所	〒 -
連絡先	自宅電話番号 : 携帯電話番号 : E-mail :
作品タイトル※2	1 . 3 . 2 . 4 .
コンテスト応募の きっかけ ※ 該当項目を○で囲んで下さい。	a) 鉄道雑誌 (雑誌名 :) b) カメラ雑誌 (雑誌名 :) c) 新 聞 (雑誌名 :) d) 鉄道車内広告、広報誌等 (鉄道会社 :) e) インターネット (ウェブサイト :) f) 家族・友人の薦め g) これまでに応募したことがある (回目) g) その他 (具体的に :)

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募者が今回のコンテストに応募した「全ての作品」のタイトルを1. ～ 4. にご記入ください (順不同)。

作 品 情 報 票

【それぞれの作品裏面に貼付】

(ふりがな) 氏 名	(歳) ※1 男 ・ 女	
(ふりがな) 作品タイトル		
撮影日時等	年 月 日 時頃 (春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬) ※2	
撮影場所	鉄道会社名 ※3	(線間)
撮影コメント※3 (撮影時の状況や狙い、感想等)		
カメラ種別※4 カメラ機種 レンズ	種 別：フィルム・デジタル・その他 () 機 種： レンズ：	
撮影データ※3 (絞り・シャッター速度等)		
本コンテストへの 応募回数	回 目	
写真撮影歴※3	約 年	

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募作品について、応募者が該当すると感じている季節を○で囲んでください。

※3 可能な範囲でご記入ください。

※4 該当する種別を○で囲んでください。

第20回

鉄道のある風景写真コンテスト 作品集

明治5年新橋から横浜間まで鉄道が開通してから147年。国鉄からJRに変わり32年。その間、関門トンネル・青函トンネル・瀬戸大橋の完成で日本列島はレールで繋がりました。偉業を成し遂げた鉄道はこれからも、「安全」「正確」「快適」をモットーに車両も駅も新しく進化していくでしょう。反面、その時代をしっかりと表現された鉄道写真を見ると、いいなあと思います。時代を経た、木造駅舎や何気ない風景の中にポツンとたたずむ待合室を見つけると、そこで暮らす人たちの温もりや、通り過ぎた旅人の足音など、わずかに残された人の気配に歴史を感じることができます。

新しく迎えた「令和」の時代で線路際を駆けまわり、一苦労も二苦労もしながら新鮮な楽しい「鉄道のある風景写真」を見つけていきましょう。

写真家 猪井 貴志

グランプリ 国土交通大臣賞 佐々木 英樹(福井県)



『静寂の中を...』

(西日本旅客鉄道 越美北線 越前東郷駅～足羽駅)

撮影者のコメント

朝靄が立ち込める静寂な空気感に気動車の音が聞こえてきた。
一日の始まりの鼓動を感じながら撮影に臨みました。

総 評

第20回「鉄道のある風景写真コンテスト」に今年も多数の応募が寄せられました。今年は特に、新しい応募者が増えたことに審査員一同喜びを噛み締め、新鮮な目で応募作品の選考にあたりました。

美しい・綺麗・感動的などの「鉄道風景写真」を撮るにはなにが必要なのでしょう。目指す撮影地で一番気になるのがやはりお天気でしょう。事前に、日の出・日の入りの時間を確認し、毎日同じ時間に通過する主役の列車が、朝日・夕陽を浴びて、一番美しく輝く瞬間を撮影したいと思うものです。しかし、天気予報がはすれ急に雨が降ったらどうしますか？このような経験は数多く体験したと思います。その状況をしっかりと心の引き出しにファイルしておくのです。ファイルが増えるほど、撮影地で何かの急変に遭遇しても、臨機応変に対応することで予期せぬ傑作が生まれるかもしれません。撮影地では、まず周りの風景を愛で、五感で感じる風をイメージし、自身の「撮りたい!」と想う「鉄道のある風景写真」に挑んでください。

第20回、令和元年グランプリに輝いた佐々木英樹さんの作品「静寂の中を...」。

山々に囲まれた里に、清々しい空気感漂う美しい風景の中から、姿を見せた列車の灯りに「ホッ」と気持ちを和ませてくれます。穏やかな一日の始まりを約束してくれるような新年号「令和」にふさわしい作品になりました。

写真家 猪井 貴志

春賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

荒木 貴啓（兵庫県）



『青空と春色道』

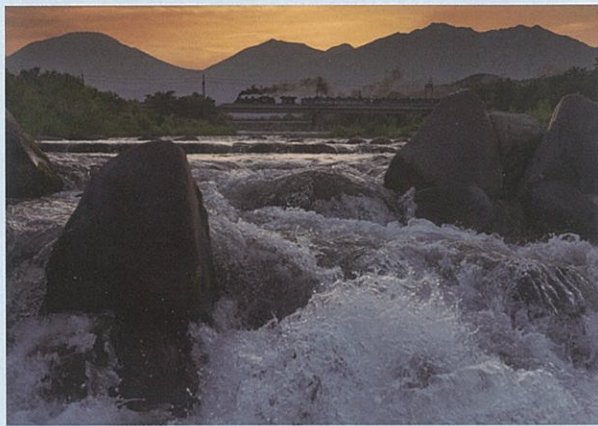
（智頭急行 智頭線 佐用駅～平福駅）

撮影者のコメント

「澄み渡る青空の下、芝桜に彩られた鉄道を
転がりながら春の長閑な空気をいっぱい感じて、
旅を楽しんでいる様でした。」

夏賞（鉄道・運輸機構理事長賞）

福田 雄一（埼玉県）



『残照』

（東武鉄道 鬼怒川線 大谷向駅～下今市駅）

撮影者のコメント

「日光連山へ沈んだ太陽が残した絶景。」

秋賞（国土交通省鉄道局長賞）

伊藤 正和（北海道）



『秋の気配』

（北海道旅客鉄道 釧網本線 塘路駅～細岡駅）

撮影者のコメント

「釧路湿原の中を走る釧網本線は、
季節感を存分に感じさせてくれる路線であり、
魅力的な車窓が広がります。」

冬賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

宮田 芳明（北海道）



『ポーズをきめて』

（北海道旅客鉄道 石勝線（旧）夕張支線 夕張駅～鹿ノ谷駅）

撮影者のコメント

「私も撮ってとポーズしてくれました。」

入選 石木 憲(栃木県)



『山里の夕暮れに』

(東日本旅客鉄道 只見線 会津中川駅)

撮影者のコメント

「列車の光に照らされた田んぼと、薄く染まった夕暮れの空を対比させるのが狙いでした。」

入選 伊藤 宏美(埼玉県)



『氷の花道』

(北海道旅客鉄道 石勝線(旧)夕張支線 清水沢駅～沼ノ沢駅)

撮影者のコメント

「夕張支線最後の冬に見た一番寒くて美しい朝だった。興奮して取り乱しながら見送ったこの日は忘れられない。」

入選 齋藤 広幸(福島県)



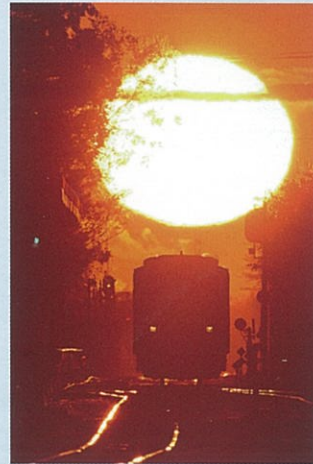
『満開の桜を見上げて』

(東日本旅客鉄道 水郡線 磐城石井駅～磐城塙駅)

撮影者のコメント

「満開の桜を画面いっぱいにフレーミングしました。車窓からも素晴らしい景色が広がっていたことでしょう。」

入選 梅津 敦(茨城県)



『日出ずる国』

(関東鉄道 常総線 稲戸井駅～戸頭駅)

撮影者のコメント

「この日は祝日で、平日よりも運転本数が少なく、太陽がフレームアウトしてしまうのではないかとヒヤヒヤしながらの撮影でした。」

入選 野村 倫直(長野県)



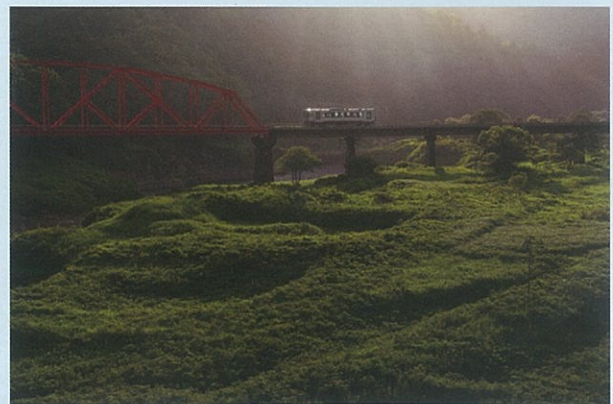
『車窓が楽しくて』

(東日本旅客鉄道 飯山線 上境駅～上桑名川駅)

撮影者のコメント

「遠望に残雪を望む晴天の朝に新緑が映えます。千曲川沿いを走る列車の車窓の素敵な風景を想像したり故郷のローカル線に想いを重ねて撮影をしました。一期一会、心晴々の一日に感謝します。」

入選 松尾 美香(大阪府)



『避暑地のバラード』

(東日本旅客鉄道 北上線 ゆだ錦秋湖駅～ほっとゆだ駅)

撮影者のコメント

「暑かった今年の夏。涼を求めて北へ北へと向かうと何時とは全く違う一瞬のめぐり逢いに深く感謝しました。」

入選 月山 榮敏(千葉県)



『乱舞するコスモス』

(真岡鐵道 真岡線 多田羅駅～市塙駅)

撮影者のコメント

「満開のコスモス畑ですが、花の向きが一定しないために、ズーミングを選択し、迫り来るSLのスピード感を撮ってみました。」

シティ・トレイン・ビュー賞 岩田 壮一(東京都)



『光り輝く』

(東日本旅客鉄道 中央本線 三鷹駅～武蔵境駅)

撮影者のコメント

「目に入る車両全てが光り輝く様に思わずシャッターを切りました。」

ジュニア賞 後藤 耀一郎(東京都)



『春回廊』

(東日本旅客鉄道 東北本線 船岡駅～大河原駅)

撮影者のコメント

「満開の千本桜を横目に春の東北を走る列車の姿が美しかった。」

(敬称は略させていただきました)

第20回 鉄道のある風景写真コンテストの概要

主催 「鉄道の日」実行委員会／鉄道・運輸機構
後援 国土交通省
募集期間 令和元年7月1日(月)～令和元年8月30日(金)
審査 令和元年9月5日(木)午後 鉄道・運輸機構にて開催
応募数 1,114点(応募者数:408名)

写真の審査は、次の方々をお願いいたしました。(敬称略)

審査委員長 写真家 猪井 貴志
審査委員 ㈱交通新聞社常務取締役第2出版事業部長 中村 直美
東京女子大学教授 竹内 健蔵
国土交通省鉄道局長 水嶋 智
鉄道・運輸機構理事長 北村 隆志

入賞・入選
作品の展示

令和元年10月12日(土)～13日(日)
令和元年10月19日(土)
令和元年10月25日(金)～29日(火)
令和元年11月2日(土)～13日(水)
令和元年11月19日(火)～29日(金)
令和元年12月5日(木)～17日(火)

第26回鉄道フェスティバル会場(東京・日比谷公園)
JR東日本新潟駅南口広場
JR四国徳島駅クレメントプラザ
京都丹後鉄道峰山駅
神戸電鉄谷上駅
つくばエクスプレス浅草駅

第21回は、令和2年春に募集案内を告知する予定です。
応募要領は、鉄道・運輸機構のホームページをご覧ください。



明日を担う交通ネットワークづくりに貢献します。

鉄道・運輸機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町 6-50-1 (横浜アイランドタワー)

TEL 045 (222) 9100 (代表)

URL <https://www.jrtt.go.jp/>